

ユーザーズマニュアルは、サポートデスクに掲載の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

この度はAtermWF1200HPをお買い上げいただきありがとうございます。AtermWF1200HP（以下、本商品または親機と呼びます。）は、Draft IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11bの無線LAN規格に準拠したワイヤレスブロードバンドルータです。

箱の中身をチェックしよう

- 不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> WF1200HP
無線 LAN アクセスポイント | <input type="checkbox"/> スタンド |
| <input type="checkbox"/> AC アダプタ
(品番: AL1-002242-001) | <input type="checkbox"/> ETHERNET ケーブル
(ストレート) |
- △警告
ACアダプタは、必ず本商品に付属のものをお使いください。また、本商品に付属の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- △安全にお使いいただくために必ずお読みください (別冊)
- 保証書 (安全にお使いいただくために必ずお読みください) に含む
 - 取扱説明書 (別冊)
 - Wi-Fi 設定シート (シール)
 - らくらく「かざして」スタートのご案内 (別冊)

スタンドの取り付け方

■横置きの場合
本体底面に差し込みます。

■縦置き / 壁掛けの場合
本体上部に差し込みます。

① スタンドの左右のツメを、本体（底面または上部）の左右の穴に差す
② スタンドを横け、中央のツメを、本体（底面または上部）の中央の穴にカッチとなるまで差し込む

そのままスタンドを引き抜いてください。

△警告
ACアダプタは、必ず本商品に付属のものをお使いください。また、本商品に付属の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

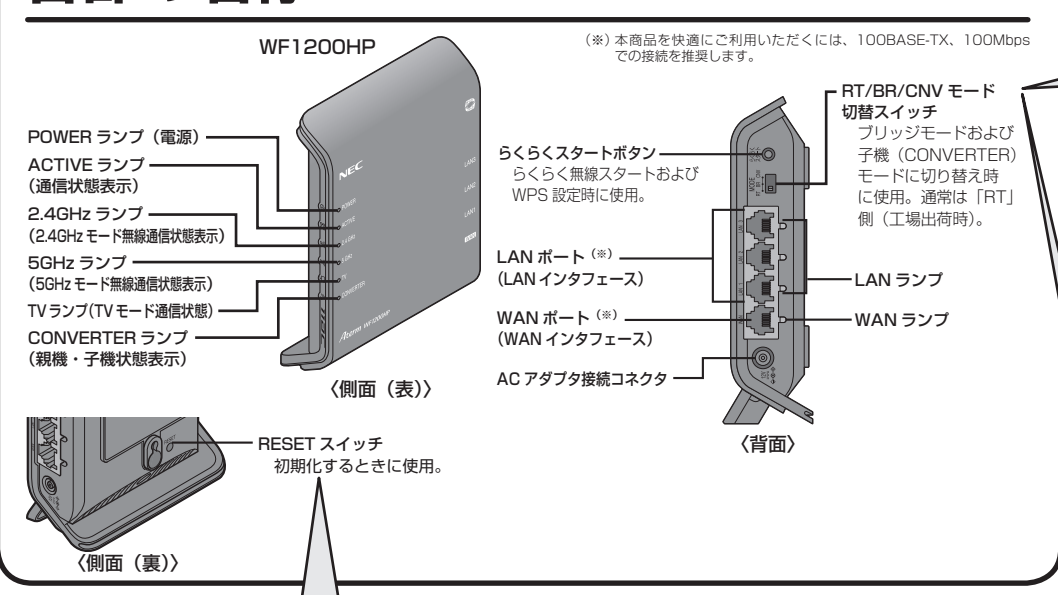
△安全にお使いいただくために必ずお読みください (別冊)

① 本体上部にスタンドを取り付ける
② 壁に、縦に 2 箇所ネジを取り付ける (ネジの間隔: 約 80mm)
③ ネジに、本体側面 (ラベル面) の取り付け穴を差し込み、下方へスライドさせて固定する
※取り外すときは、本体の間隔を手で持ち、上方へスライドさせてから、取り外してください。

本商品の取扱説明書について

- 本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。
- つながりかたガイド (本書)
 - 安全にお使いいただくために必ずお読みください (別紙)
 - 取扱説明書 (別冊)
 - ユーザーズマニュアル (Web サイトに掲載)
 - 右記 QR コードまたは下記からご覧ください。(2013年11月現在)
 - サポートデスク (http://www.aterm.jp/support/) より (機種名で検索) - [WF1200HP] - [マニュアル]

各部の名称

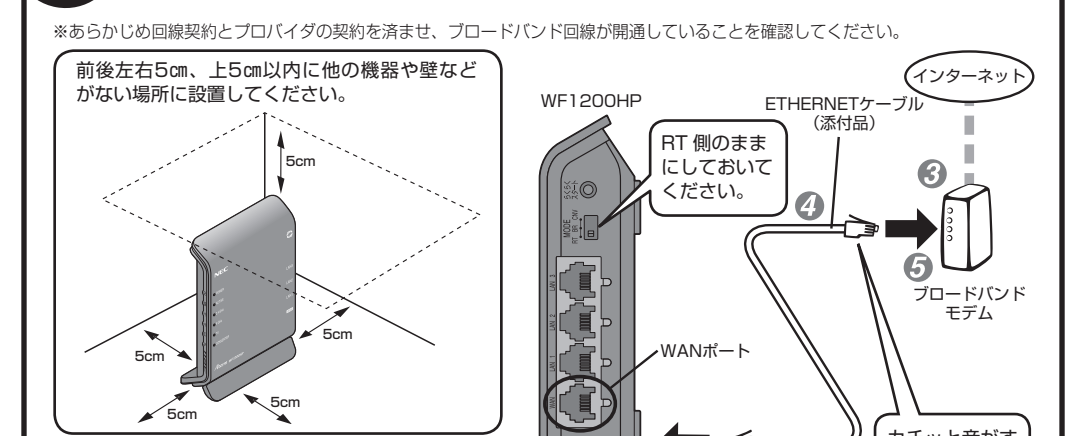


初期化方法

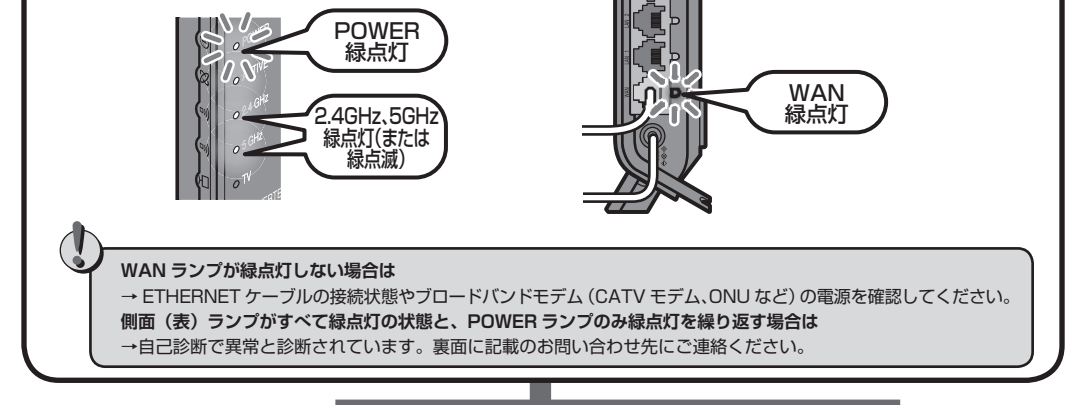
RT/BR/CNVモード切替スイッチを「RT」側(初期値)にしてから始めてください。

- 1 本商品のPOWERランプが緑点灯していることを確認する
※電源を入れた場合や電源を入れた直後の場合は、約40秒お待ちください。
- 2 RESETスイッチを細い棒状のもの(電気を通さない材質のもの、つまようじの先など。)で押し続け、POWERランプが赤点滅を始めたら放す
※POWERランプが赤点滅するまで6〜10秒かかります。
- 3 本商品からACアダプタのプラグを取り外して約10秒待ってから差し込む
- 4 1分ほど待つ
※側面(表)のランプが一斉に緑点滅したあと、POWERランプが緑点灯したら初期化が完了します。

STEP 1 親機WF1200HPを設置して電源を入れよう



- 1 スタンドを取り付ける
(←左記「スタンドの取り付け方」)
 - 2 パソコンの電源を切る
※すでにインターネット接続している環境の場合は、ブロードバンドモデムに接続しているパソコンの電源を切り、パソコンからETHERNETケーブルを外します。
 - 3 ブロードバンドモデムの電源を切る
<ブロードバンドモデムの例>
CATV モデム、ONU、ひかり電話対応ルータなど
 - 4 親機のWANポートとブロードバンドモデムのLANポートなどを接続する
 - 5 ブロードバンドモデムの電源を入れる
 - 6 親機の電源を入れ、約40秒待つ
ACアダプタを接続すると、親機の電源が入ります。正常動作するまで約40秒お待ちください。(自己診断テストが実行されます。テスト中は側面(表)のすべてのランプが緑点灯します。)
- △警告
ACアダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 7 親機のPOWERランプとWANランプが緑点灯、2.4GHz、5GHzランプが緑点灯(または緑点滅)する



有線で接続する場合

親機の電源をいったん切ってから、LANポートとパソコン(※)などを接続してください。接続したら、親機とパソコンなどの電源を入れてください。

※パソコンなどの電源を入れると、LANランプが緑点灯します。
※使用するパソコンなどはLANポート100BASE-TX/10BASE-Tを装備している必要があります。

(注) 自作のパソコンはサポート外となります。

無線で接続する場合

接続したら、STEP 2へ

親機にWi-Fi接続してください。

接続したら、STEP 3へ

「AtermらくらくQRスタート」について

「AtermらくらくQRスタート」は、インターネット接続(3G通信やLTE通信など)機能およびカメラ機能に対応しているスマートフォン・タブレット端末で、無料でご利用いただけます。ただしインターネット接続(3G通信やLTE通信など)のパケット通信料はお客様ご負担となります。利用可能な端末の最新情報は「AtermらくらくQRスタート」のWebサイト(http://qr.aterm.jp)でご確認ください。
なお、2013年11月現在では、下記端末でのご利用となります。
Android端末(対応OS: Android 4.3/4.2/4.1/4.0/3.2/3.1/3.0/2.3)
iOS端末(対応OS: iOS 7.0/6.1/6.0/5.1/5.0/4.3)

子機(CONVERTER)モードへの設定方法

本商品は、子機(イーサネットコンバータ)としてご利用いただくことができます。【ユーザーズマニュアル】RT/BR/CNVモード切替スイッチを使って、子機(CONVERTER)モードに設定します。

- 1 本商品の電源を切る
- 2 RT/BR/CNVモード切替スイッチをCNV側に切り替える
- 3 本商品の電源を入れる
※電源を入れると自己診断テストが実行され、POWER、ACTIVE、2.4GHz、5GHz、TV、CONVERTERランプが緑点灯します。しばらくしてCONVERTERランプが緑点灯すれば、子機(CONVERTER)モードに設定完了です。
CONVERTERランプが緑点灯する場合は、中継機として動作しています。【ユーザーズマニュアル】

親機に戻す場合は、本商品の電源を切ってRT/BR/CNVモード切替スイッチをRT側に切り替えたあと、電源を入れてください。

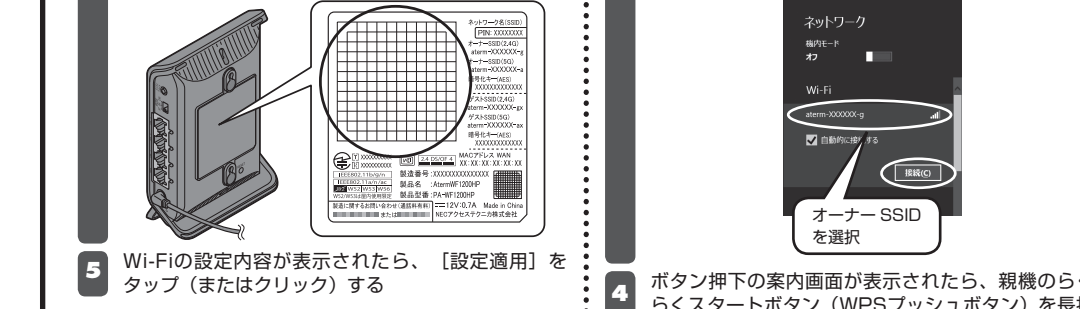
STEP 2 親機にWi-Fi接続しよう

スマートフォン・タブレット端末をご利用の場合

スマートフォン・タブレット端末では、親機の側面ラベルにあるWi-Fi設定用QRコードを読み取ってWi-Fi接続の設定をすることができます。

※「docomo Wi-Fiかんたん接続」アプリが搭載されているスマートフォンをご利用の場合は、URL http://qr.aterm.jp/rd を参照してください。

- 1 スマートフォン・タブレット端末から、「AtermらくらくQRスタート」のサイト(下記)にアクセスする
http://qr.aterm.jp
- 2 表示された画面にしたがって、専用アプリ「AtermらくらくQRスタート」(無料)をダウンロードおよびインストールする
- 3 インストールした専用アプリ「AtermらくらくQRスタート」を起動する
※起動後、しばらくすると、カメラビューが表示されます。
- 4 カメラビュー画面で、親機の側面ラベルにあるWi-Fi設定用QRコードを読み取る
※カメラビュー内の読み取り範囲内にQRコードを表示させてください。自動的にQRコードを読み取ります。



インターネット接続設定画面が表示された場合は、画面にしたがって設定してください。設定後、インターネットに接続できれば、完了です。

親機では、設定用のQRコードをクイック設定Webから表示することができます。クイック設定WebでWi-Fi設定内容を変更した場合は、変更した内容のQRコードを表示できます。



無線LAN内蔵パソコンの場合

(Mac OS XまたはOS Xの場合は下記「その他の子機の場合」を参照してください。)

- WPSで接続する場合 (Windows 8.1/8/7 および Windows Vista (SP2))
- ※無線LAN内蔵パソコン側もWPSに対応している必要があります。
※Windows 8.1/8の場合は、【スタート】画面で「デスクトップ」を選択してから始めてください。
※ここではWindows 8の画面を主な例として説明しています。
- 1 パソコンの無線LAN(ワイヤレス)機能を有効にする
※設定方法は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
 - 2 パソコンの通知領域(タスクトレイ)にあるネットワークアイコンから、ネットワークの一覧画面を表示する
 - 3 親機のネットワーク名(SSID)のうち、オーナー-SSIDを選択し、【接続】をクリックする
※ネットワーク名(SSID)は、親機の側面に記載されています。【オーナー-SSID】を選択してください。
 - 4 ボタン押下の案内画面が表示されたら、親機のらくらくスタートボタン(WPSプッシュボタン)を長押しし、親機のPOWERランプが緑点滅したら放す以降、Windows Vistaの場合は【次へ】をクリックし、画面にしたがってください。
しばらくして接続が完了すると、POWERランプが約10秒間緑点灯します。

その他の子機の場合

無線LANの接続方法は、子機の取扱説明書を参照してください。その際は、下記を参照して、親機のネットワーク名(SSID)を選択し、暗号化キーを入力してください。
Wi-Fi接続完了後、裏面STEP 3へお進みください。

親機の工場出荷時のネットワーク名(SSID)と暗号化キーは、側面ラベルに記載されています。

1 ネットワーク名(SSID)
ご利用の子機から、親機のネットワーク名(SSID)を選択します。
・オーナーSSID: 通常はこちらを選択してください。(初期値はAES)
・ゲストSSID: 訪問者(ゲスト)の使用を一時的に許可する場合のSSIDです。(初期値はAES)ただし、使用するには設定が必要となります。
→工場出荷時はWi-Fi機能が有効に設定されています。接続するためには、クイック設定Webの「Wi-Fi(無線LAN)設定」-「Wi-Fi詳細設定」の「対象ネットワークを選択」でゲストSSIDを選択し、Wi-Fi機能を有効に設定する必要があります。

2 暗号化キー (パスワード、セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキー)
選択したネットワーク名(SSID)で使用している暗号化キーを入力します。工場出荷時の値は、半角英数字(0~9、a~f)を使用した13桁です。
※暗号化キーで使用されているアルファベットは、工場出荷時の状態ですべて小文字(abcddef)です。
(「B」(ビー)、「G」(ジー)、「I」(アイ)、「J」(エル)、「O」(オー)は使用していません。)
※親機のWEPの暗号化(セキュリティ)については、下記を参考にしてください。
・WEPはOpen System認証を使用しています。
・キーは自動的に提供されません。また、本商品のキーインデックスは「1」です。
・IEEE802.1Xは使用していません。
・桁数が26桁の場合は、英数字を16進数に読み替えてください。
読み替え方法:
英数字 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 a b c d e f
16進数 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 61 62 63 64 65 66
読み替え例: 0123456789abc → 30313233343536373839616263

この他に、IEEE802.11bのみに対応している子機(ニンテンドーDSなど)から接続できる「WEP専用SSID」があります。(ゲストSSIDの末尾2桁を「gw」にしたものです。暗号化キーは、クイック設定Webの「Wi-Fi(無線LAN)設定」-「Wi-Fi詳細設定」で確認できます。)通常は、IEEE802.11bのみに対応している子機かららくらく無線スタートで接続します。

STEP 3 親機にWi-Fi接続しよう

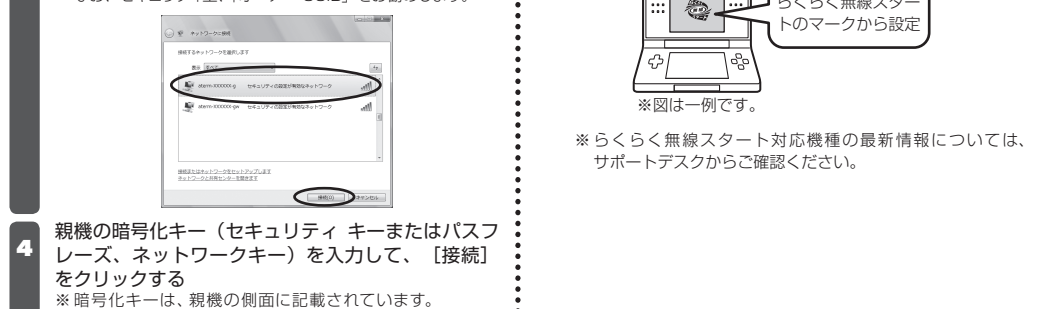
無線LAN内蔵パソコンの場合

(Mac OS XまたはOS Xの場合は下記「その他の子機の場合」を参照してください。)

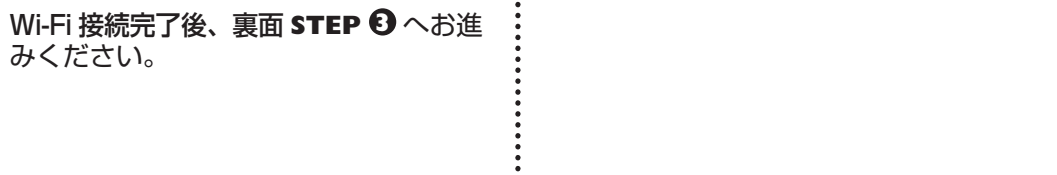
WPSで接続する場合 (Windows 8.1/8/7 および Windows Vista (SP2))

※無線LAN内蔵パソコン側もWPSに対応している必要があります。
※Windows 8.1/8の場合は、【スタート】画面で「デスクトップ」を選択してから始めてください。
※ここではWindows 8の画面を主な例として説明しています。

- 1 パソコンの無線LAN(ワイヤレス)機能を有効にする
※設定方法は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
- 2 パソコンの通知領域(タスクトレイ)にあるネットワークアイコンから、ネットワークの一覧画面を表示する
- 3 親機のネットワーク名(SSID)のうち、オーナー-SSIDを選択し、【接続】をクリックする
※ネットワーク名(SSID)は、親機の側面に記載されています。【オーナー-SSID】を選択してください。
なお、セキュリティ、「オーナー-SSID」をお勧めします。
- 4 ボタン押下の案内画面が表示されたら、親機のらくらくスタートボタン(WPSプッシュボタン)を長押しし、親機のPOWERランプが緑点滅したら放す以降、Windows Vistaの場合は【次へ】をクリックし、画面にしたがってください。
しばらくして接続が完了すると、POWERランプが約10秒間緑点灯します。



親機の暗号化キー(セキュリティキーまたはパスフレーズ、ネットワークキー)を入力して、【接続】をクリックする
※暗号化キーは、親機の側面に記載されています。



無線LAN内蔵パソコンの場合

(Mac OS XまたはOS Xの場合は下記「その他の子機の場合」を参照してください。)

- WPSで接続する場合 (Windows 8.1/8/7 および Windows Vista (SP2))
- ※無線LAN内蔵パソコン側もWPSに対応している必要があります。
※Windows 8.1/8の場合は、【スタート】画面で「デスクトップ」を選択してから始めてください。
※ここではWindows 8の画面を主な例として説明しています。
- 1 パソコンの無線LAN(ワイヤレス)機能を有効にする
※設定方法は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
 - 2 パソコンの通知領域(タスクトレイ)にあるネットワークアイコンから、ネットワークの一覧画面を表示する
 - 3 親機のネットワーク名(SSID)のうち、オーナー-SSIDを選択し、【接続】をクリックする
※ネットワーク名(SSID)は、親機の側面に記載されています。【オーナー-SSID】を選択してください。
なお、セキュリティ、「オーナー-SSID」をお勧めします。
 - 4 ボタン押下の案内画面が表示されたら、親機のらくらくスタートボタン(WPSプッシュボタン)を長押しし、親機のPOWERランプが緑点滅したら放す以降、Windows Vistaの場合は【次へ】をクリックし、画面にしたがってください。
しばらくして接続が完了すると、POWERランプが約10秒間緑点灯します。

その他の子機の場合

無線LANの接続方法は、子機の取扱説明書を参照してください。その際は、下記を参照して、親機のネットワーク名(SSID)を選択し、暗号化キーを入力してください。
Wi-Fi接続完了後、裏面STEP 3へお進みください。

親機の工場出荷時のネットワーク名(SSID)と暗号化キーは、側面ラベルに記載されています。

1 ネットワーク名(SSID)
ご利用の子機から、親機のネットワーク名(SSID)を選択します。
・オーナーSSID: 通常はこちらを選択してください。(初期値はAES)
・ゲストSSID: 訪問者(ゲスト)の使用を一時的に許可する場合のSSIDです。(初期値はAES)ただし、使用するには設定が必要となります。
→工場出荷時はWi-Fi機能が有効に設定されています。接続するためには、クイック設定Webの「Wi-Fi(無線LAN)設定」-「Wi-Fi詳細設定」の「対象ネットワークを選択」でゲストSSIDを選択し、Wi-Fi機能を有効に設定する必要があります。

2 暗号化キー (パスワード、セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキー)
選択したネットワーク名(SSID)で使用している暗号化キーを入力します。工場出荷時の値は、半角英数字(0~9、a~f)を使用した13桁です。
※暗号化キーで使用されているアルファベットは、工場出荷時の状態ですべて小文字(abcddef)です。
(「B」(ビー)、「G」(ジー)、「I」(アイ)、「J」(エル)、「O」(オー)は使用していません。)
※親機のWEPの暗号化(セキュリティ)については、下記を参考にしてください。
・WEPはOpen System認証を使用しています。
・キーは自動的に提供されません。また、本商品のキーインデックスは「1」です。
・IEEE802.1Xは使用していません。
・桁数が26桁の場合は、英数字を16進数に読み替えてください。
読み替え方法:
英数字 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 a b c d e f
16進数 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 61 62 63 64 65 66
読み替え例: 0123456789abc → 30313233343536373839616263

この他に、IEEE802.11bのみに対応している子機(ニンテンドーDSなど)から接続できる「WEP専用SSID」があります。(ゲストSSIDの末尾2桁を「gw」にしたものです。暗号化キーは、クイック設定Webの「Wi-Fi(無線LAN)設定」-「Wi-Fi詳細設定」で確認できます。)通常は、IEEE802.11bのみに対応している子機かららくらく無線スタートで接続します。

STEP 3 らくらくネットスタートでブロードバンド回線の設定をしよう

ブロードバンドが開通したら、親機に動作モードを設定します。

★増設の機種から接続する場合や、すでにらくらくネットスタートでの設定が完了している場合は、STEP 3へお進みください。
★本書では、無線LAN アクセスポイントを親機、無線LAN 端末を子機と呼びます。

注1：親機のWANポートのケーブルは差したままにしておいてください。
注2：ブロードバンドモデム(CATV モデム、ONU など)の電源をいったん切って、入れ直してください。(モデムによっては記録を変えたあと、電源を20分〜24時間切っておかないと正常に動作しない場合があります。)

らくらくネットスタートを起動する

※RT/BR/CNVモード切替スイッチをRT側にしてから、始めてください。

- 親機からACアダプタのプラグを抜いて、約10秒待つ
WANポートのETHERNETケーブルは差したままにしておいてください。
- らくらくスタートボタンを押したまま、ACアダプタのプラグを接続し、POWER、ACTIVE、2.4GHz、5GHz、TV、CONVERTERのランプが同時に緑点滅したら放す
- 長押ししたまま接続する
- 同時に緑点滅したらボタンを押したまま30〜40秒
- 同時に緑点滅せず、同時に緑点滅した場合はらくらくネットスタートが起動できません。親機を初期化し、手順1からやり直してください。(※表面「初期化方法」)

らくらくネットスタートの自動判別結果

自動判別が完了すると、親機のランプが下記のいずれかの状態になるので、状態ごとの手順にしたがってください。
(※)TVランプは、無線の接続状態によっては、緑点灯している場合があります。

ローカルルータモード

ACTIVE 緑点灯

設定完了

ブリッジモード

ACTIVE 緑点灯

設定完了

PPPoEルータモードの設定待ち

POWER 赤点滅
ACTIVE 赤点滅
2.4GHz、5GHz 赤点滅
TV 赤点滅
CONVERTER 赤点滅

- 親機からACアダプタのプラグを抜いて、約10秒待つ
- 親機にACアダプタを接続し、約1分待つ
- WWWブラウザ(Internet Explorerなど)を起動し、アドレス欄に「http://aterm.me/」または「http://192.168.10.1/」と入力して、設定画面「クイック設定Web」を開く
※この段階ではまだインターネットにはつながりませんが、上記URLを入力すれば、設定画面は表示できます。
- 画面にしたがって管理者パスワード(任意の文字列)を決めて、下の控え欄に記入する
管理者パスワード控え欄
●管理者パスワードは、親機を設定するときに必要となりますので必ず控えしておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができます。初期化してすべての設定をやり直します。
※「管理者専用設定」で「管理者専用認証スルー機能」の「使用する」にチェックすると、この画面を表示している端末のMACアドレスを管理者専用のMACアドレスとして親機に登録します。登録した端末では、クイック設定Web起動時にユーザ名・管理者パスワードを入力を省略することができます。
- 手順④で控えた管理者パスワードを画面に入力し、「設定」をクリックする
※「パスワード」を入力する前に「入力した文字を表示する」にチェックができます。
※「管理者専用設定」で「管理者専用認証スルー機能」の「使用する」にチェックすると、この画面を表示している端末のMACアドレスを管理者専用のMACアドレスとして親機に登録します。登録した端末では、クイック設定Web起動時にユーザ名・管理者パスワードを入力を省略することができます。
- 右の画面が表示された場合は、「ユーザー名」(上段)に「admin」を、「パスワード」(下段)に手順④で控えた管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックする
(画面はWindows 8の場合です。)
- [接続先名]に、任意の名称(プロバイダ名など)を入力する
- 接続事業者/プロバイダからの情報にしたがって「ユーザー名」と「パスワード」を入力する
※接続事業者/プロバイダとの契約時に入手した接続情報の書類を確認し、文字列を間違えないように入力してください。
※フレッツの場合は、@以降のドメインが必要です。
※メールのユーザ名やドメイン、パスワードでは接続できません。
※「パスワード」を入力する前に「入力した文字を表示する」にチェックを入れると、入力文字が確認できます。
- サービス情報サイトの接続先登録を行うかどうかの選択をする
※NTT東日本の「Bフレッツ」、フレッツ・ADSLをご利用の場合のみ選択します。
- [設定]をクリックする

初め起動する場合は、右の画面が表示されます。画面にしたがって、管理者パスワード(任意の文字列)の初期設定をしてください。

※管理者パスワードは、本商品を設定するときに必要となりますので、下記に控えしておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができません。初期化してすべての設定をやり直してください。

管理者パスワード控え欄

●管理者専用設定で「管理者専用認証スルー機能」の「使用する」にチェックすると、この画面を表示している端末のMACアドレスを管理者専用のMACアドレスとして本商品に登録します。登録した端末では、クイック設定Web起動時にユーザ名・管理者パスワードを入力を省略することができます。

●ユーザ名とパスワード入力画面が表示された場合は、ユーザ名とパスワードを入力してください。
※「ユーザー名」(上段)には「admin」(半角小文字)、「パスワード」(下段)は上記で控えた管理者パスワードを入力してください。

らくらくネットスタートで回線を自動判別する

らくらくネットスタートで、自動的にWANポートに接続された回線を判別します。(最大数分間)
※親機の電源は絶対に切らないでください。

らくらくネットスタートで回線判別中は同時に緑点滅します。(最大数分間)
※同時に緑点滅したあと、しばらく(約10秒)POWERランプ以外が消滅してから判別結果が出る場合があります。

右上へ進む

セキュリティ確保のため、親機の管理者パスワード設定をお願いします。(あとからでも設定可能です。)

<クイック設定Webの起動のしかた>
(※右記「クイック設定Webの起動方法」)

ACTIVE 緑点灯

設定完了

親機のランプが下記いずれかの状態の場合は、記載の対応にしたがってください。

ローカルルータモードのIPアドレス統合状態

ACTIVE 緑点滅

ブロードバンド回線の回線が失われた状態

POWER 赤点滅
ACTIVE 赤点滅
2.4GHz、5GHz 赤点滅
TV 赤点滅
CONVERTER 赤点滅

- 親機のWANポートとブロードバンドモデム(CATV モデム、ONU など)ケーブルが接続されていない場合は、接続するケーブルを接続し、電源をいったん切って、入れ直してください。
- 親機の電源をいったん切って、入れ直してください。
- 親機の電源をいったん切って、入れ直してください。
- 親機の電源をいったん切って、入れ直してください。

STEP 4 インターネットに接続しよう

●パソコンのファイアウォール、ウイルスチェックのソフトをいったん停止していた場合は、有効に戻してください。

- WWWブラウザ(Internet Explorerなど)を起動する
- 外部のホームページを開く
(例) サポートデスクの場合 <http://www.aterm.jp/support/>

これで本商品を使用してインターネットに接続するまでの設定は完了です。さらに詳細な機能をご使用になりたい場合は、サポートデスク(※下記)に公開されている「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

インターネットに接続できないときは

STEP 3でらくらくネットスタートでブロードバンド回線の設定をしようで設定した親機の動作モードやユーザ名、パスワードなどが違っている場合があります。
親機を初期化して、もう一度、STEP 3でらくらくネットスタートでブロードバンド回線の設定をしようの設定をしてください。
※表面「初期化方法」を参照してください。(初期化を行うと親機のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。)

それでも解決しない場合は、右記「トラブルシューティング」を参照してください。

●ローカルルータモードとブリッジモードの選別は、次のとおりです。

お問い合わせ

●ホームページ「サポートデスク」
<http://www.aterm.jp/support/>
(2013年11月現在)

●Aterm(エーターム)インフォメーションセンター
Atermの修理、操作、設定に関するお問い合わせや、「何かあな?」とされた場合は、こちらへお問い合わせください。
ナビダイヤル TEL: 0120-277-277 (受付時間: 午前9時〜午後5時) (携帯電話からも同一番号です。)

●ご注意
サポートデスク、修理センター、Atermについて役立つ情報を掲載しています。最新情報は、本マニュアルが掲載されているページ「お問い合わせ・アフターサービス」を参照してください。

●お問い合わせ・アフターサービス

掲載されているお問い合わせ先は、変更されている場合があります。最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページ「お問い合わせ・アフターサービス」を参照してください。

本商品の設定を変更する場合は

本商品の設定を変更する場合は、WWWブラウザ画面「クイック設定 Web」で設定します。
クイック設定 Web の起動方法は次のとおりです。

クイック設定 Web の起動方法

●本商品の ACTIVE ランプが緑点灯 / 緑点滅 / 消灯の場合 (ローカルルータモードの場合)
WWWブラウザのアドレス欄に下記を入力して起動してください。
<http://aterm.me/>
※本商品のIPアドレス(初期値: 192.168.10.1)を入力しても起動します。

●本商品の ACTIVE ランプが橙点灯 / 橙点滅の場合 (ブリッジモードの場合)
WWWブラウザのアドレス欄に下記を入力して起動してください。
<http://X.Y.Z.210/>
※「X.Y.Z」は、本商品が接続しているネットワークのアドレス体系です。
(※右記「本商品が接続しているネットワークのアドレス体系を確認する」でご確認ください。)

●本商品の ACTIVE ランプが消灯 / 消点滅の場合 (PPPoEルータモードの場合)
WWWブラウザのアドレス欄に下記を入力して起動してください。
<http://aterm-XXXXXX/> と入力して起動してください。
※「XXXXXX」は本商品前面パネルのWAN側MACアドレスの下6桁です。

●初め起動する場合は、右の画面が表示されます。画面にしたがって、管理者パスワード(任意の文字列)の初期設定をしてください。

●管理者パスワードは、本商品を設定するときに必要となりますので、下記に控えしておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができません。初期化してすべての設定をやり直してください。

管理者パスワード控え欄

●管理者専用設定で「管理者専用認証スルー機能」の「使用する」にチェックすると、この画面を表示している端末のMACアドレスを管理者専用のMACアドレスとして本商品に登録します。登録した端末では、クイック設定Web起動時にユーザ名・管理者パスワードを入力を省略することができます。

●ユーザ名とパスワード入力画面が表示された場合は、ユーザ名とパスワードを入力してください。
※「ユーザー名」(上段)には「admin」(半角小文字)、「パスワード」(下段)は上記で控えた管理者パスワードを入力してください。

(画面はWindows 8の場合の例です。)

らくらくWebウィザードでブロードバンド回線の設定を手動で行う

ここでは、インターネット接続に必要な本商品の動作モードを、手動で設定する方法について説明しています。設定はらくらくWebウィザードで設定します。
※らくらくWebウィザードは、インターネット接続設定が未設定の場合のみ、表示されます。

- クイック設定 Web を起動する (※上記)
- 動作モードを選択し、「次へ」をクリックする
接続事業者(例)の接続先名に動作モードを選択してください。
● PPPoE ルータモードを選択する場合
● ローカルルータモードを選択する場合
● ブリッジモードを選択する場合
● PPPoE ルータモードの場合
● ローカルルータモードの場合
● ブリッジモードの場合
- 表示される画面に合わせて、インターネット接続に必要な情報を入力する

●接続事業者/プロバイダからの情報にしたがって「ユーザー名」と「パスワード」を入力する。
※接続事業者/プロバイダとの契約時に入手した接続情報の書類を確認し、文字列を間違えないように入力してください。
※フレッツの場合は、@以降のドメインが必要です。
※メールのユーザ名やドメイン、パスワードでは接続できません。
※NTT東日本の「Bフレッツ」フレッツ・ADSLをご利用の場合のみ選択します。DNSルーティング設定は自動的に実行されます。

●ローカルルータモードの場合
ご加入の接続事業者の案内にしたがって入力してください。
接続事業者の案内に何も記載されていない場合は、接続事業者から指定されているIPアドレスを入力してください。

●ブリッジモードの場合
ご加入の接続事業者の案内にしたがって入力してください。
接続事業者の案内に何も記載されていない場合は、接続事業者から指定されているIPアドレスを入力してください。

●PPPoEルータモードの場合
接続事業者から指定されているIPアドレスを入力してください。WAN側をDHCPクライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

ゲートウェイ:
接続事業者から指定されている場合は「使用する」のを外し、「固定アドレス」に入力します。指定されていない場合は「使用する」のを外し、そのアドレスを入力します。

ネームサーバ:
サーバから自動で取得する場合は、「使用する」にします。接続事業者から指定されている場合は、チェックを外し、そのアドレスを入力します。

ドメイン名/ホスト名:
接続事業者からドメイン名、ホスト名を指定されている場合は、その名前を入力します。特に指定がない場合は、空欄のままでもかまいません。

●ブリッジモードの場合
IPアドレス、ネットワークマスクを手動で設定する場合は、「IPアドレス自動補正機能」の「使用する」のを外し、ご使用の環境に合わせて本商品のIPアドレス/ネットワークマスクを設定します。
(例) ルータタイプのADSLモデムのIPアドレスが「192.168.1.1」の場合
IPアドレス: 192.168.1.XXXなど
ネットワークマスク: 255.255.255.0

ADSLモデム 他の機器でも同じ値 未使用の場合
ネットワーク(ビット指定): 24
※フレッツ・光プレミアムに接続する際は、IPアドレスを「192.168.24.XXX」に設定してください。

DHCPクライアント機能:
WAN側のIPアドレスを自動で取得する場合は「使用する」にします。接続事業者から指定されている場合は「使用する」のを外し、そのIPアドレスを入力してください。

IPアドレス/ネットワークマスク:
接続事業者から指定されている場合は、そのIPアドレス、ネットワークマスクを入力します。WAN側をDHCPクライアントとして使用する場合は特に指定する必要はありません。

●クイック設定 Web、らくらく Web ウィザードが利用できる WWW ブラウザについては、AtermStation (<http://121.ware.com/aterm/>) にてご確認ください。
●説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。
●クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。
●PPPoEの外付けルータ/ブロードバンドモデムを使用するときは、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時にインターネットに接続できません。親機台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定してください。
●動作モードがわからないときは、親機を初期化して、再度らくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定してください。

●ローカルルータモードとブリッジモードの違いは、次のとおりです。

動作モード	お勧めの環境	制限事項など
ローカルルータモード	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合	本商品のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンドモデムに接続された場合、正しく動作しない場合があります。
ブリッジモード	ルータを多重化することにより回線がもつれやすくなる場合	本商品のルータ機能は停止されます。ブロードバンドモデムに接続された場合、ルータ機能をご利用いただけません。重要サイトブロック機能(ファミリーフィルタ)機能(ユーザズマニエール)は、ご利用いただけません。

トラブルシューティング

ご利用にあたり、考えられるトラブルとその対処を下記に記載しました。
その他サポートデスクの「機種名で探す」(MF1200HPI)にある「Q&A」でもさまざまなトラブルと対処を掲載していますので、そちらも合わせてご覧ください。(2013年11月現在)
※解決しない場合は、本商品を初期化(※表面「初期化方法」)し、始めから設定し直してお試しください。

- ブロードバンドモデムが設置されていない場合の接続方法は?
マシヨンタイプのインターネット接続回線の場合、ブロードバンドモデムが設置されていない場合があります。その場合は、本商品の電源を切り、本商品のWANポートと、壁などに設置されているインターネット接続口をETHERNETケーブルで接続後、本商品の電源を入れてください。
- インターネットに接続できない
●ADSL/FTTH接続に関するトラブル
●CATV接続に関するトラブル
●CATV(ケーブルテレビ)回線を使用しているが、ACTIVEランプが点灯せず、インターネットに接続できない
→ご使用のモデムによっては、接続したネットワーク機器のMACアドレスを記憶しているため、モデムの設定をリセットする必要があります。本商品、モデムの順番で電源をいったん切り、しばらく置いておきます。モデムを置いておく時間は、電源を切って、すぐ電源を入れてもよい場合や、20〜30分も置いておく必要はない場合など、ケーブルテレビ会社により異なります。モデムを置いておく時間については、ご使用のケーブルテレビ会社にご確認ください。
- ACTIVEランプが緑色に点灯している
正常なランプ表示です。ブリッジモード(ルータ機能は停止)になっています。ルータモード(ルータ機能を使う)に戻す場合は、電源をいったん切って、RT/BR/CNVモード切替スイッチを「RT」側に切り替え、再度電源を入れてください。
- クイック設定 Web が対応している WWW ブラウザは?
クイック設定 Web が対応している WWW ブラウザについては最新の情報は、AtermStation (<http://121.ware.com/aterm/>) の「製品仕様」で確認ください。
- 本商品のクイック設定 Web が開かない
●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合、設定ができなかったり、通信が正常に行かない場合があります。
●Wi-Fi接続しクイック設定 Web を表示させる場合、ゲストSSIDまたはWEP専用SSIDにWi-Fi接続していると、工場出荷時の状態でネットワーク分離機能が設定されているため、クイック設定 Web を表示できません。その場合は、いったん有線で本商品とパソコンを接続して、クイック設定 Web を表示してください。設定が終わったら、再度Wi-Fi接続してください。
●JavaScriptが無効に設定されている
→WWWブラウザの設定でJavaScriptを有効に設定してください。
●IPアドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンのIPアドレスを自動取得に設定してお試しください。

管理者パスワードを忘れてしまった

本商品を工場出荷状態に初期化してください。(※表面「初期化方法」)この場合、設定した情報はすべて初期化してしまいます。ただし、クイック設定 Web の「メンテナンス」→「設定の保存と復元」で以前設定したデータをバックアップしてあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくをお勧めします。
なお、「管理者パスワードの初期設定」時に「管理者専用認証スルー機能」を「使用する」に設定している時は、設定時に同じ画面からクイック設定 Web を起動する場合、ユーザ名・管理者パスワードが省略できます。

無線LAN 対応プリンタからWi-Fi接続したい

プリンタの無線(Wi-Fi)機能を有効(OFF)にしてから、本商品のネットワーク名(SSID)・暗号化キーをプリンタに設定してください。なお、WPSに対応している場合は、WPS機能を使ってWi-Fi接続することができます。(サポートデスクの「Q&A検索」で「WPS」を検索すると、手順を確認できます。)

本商品が接続しているネットワークのアドレス体系を確認する

本商品が接続しているネットワークのアドレス体系は、下記の手順で確認します。
本商品の動作モードをブリッジモードでご利用になる場合は、ここで確認したアドレス体系を使用してクイック設定 Web を起動します。

Windows Vista および Windows 8.1/8/7 の場合

- [スタート] 画面上で右クリックして「すべてのアプリ」をクリックし、「アプリ」画面にある「コマンドプロンプト」をクリックする
※ Windows 8.1 の場合は、「スタート」画面左下にある右下の「I」をクリックして「アプリ」画面を表示し、「コマンドプロンプト」をクリックします。
- ipconfig /all と入力して、[Enter] キーを押す
- 表示された IPv4 アドレスを確認する

Mac OS X または OS X の場合

- アップルメニューの「システム環境設定」を開き、「ネットワーク」アイコンを選択する
- [Ethernet] を選択する
※本商品にWi-Fi接続している場合は「Wi-Fi」(または「AirMac」)を選択して「詳細」をクリックし、「TCP/IP」タブをクリックします。
- 表示された IP アドレス (または IPv4 アドレス) を確認する

iOS の場合

- 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする
- 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする
- 「ネットワークを選択...」から、チェックが入っている接続中のネットワーク名(SSID)の右側にある「>」ボタンをタップする
- 表示された IP アドレス (IP Address) を確認する

インターネット接続のための基本設定は完了です。

インターネット接続の設定 (らくらく Web ウィザード) をもう一度行いたい場合は

らくらく Web ウィザードは、本商品を初めて設定する場合のみ表示されます。もう一度設定する場合は、一度初期化してから設定を行ってください。(※表面「初期化方法」)なお、初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。

●ローカルルータモードとブリッジモードの違いは、次のとおりです。

動作モード	お勧めの環境	制限事項など
ローカルルータモード	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合	本商品のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンドモデムに接続された場合、正しく動作しない場合があります。
ブリッジモード	ルータを多重化することにより回線がもつれやすくなる場合	本商品のルータ機能は停止されます。ブロードバンドモデムに接続された場合、ルータ機能をご利用いただけません。重要サイトブロック機能(ファミリーフィルタ)機能(ユーザズマニエール)は、ご利用いただけません。